

平成29年度進行管理・評価シート
高山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）
（最終変更平成26年3月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
2 市独自条例の取組	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 旧森邸等整備事業	4
2 スポット整備事業	5
3 町並み・景観保全事業	6
4 景観重要建造物等修景事業	7
5 屋台保存事業	8
6 伝承芸能保存事業	9
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理事業、防災に関する事業	10
2 文化財に関する普及・啓発の取組	11
3 民間団体への助成・支援	12
4 民間団体と連携・協力した取組	13
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 新聞報道	14
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 外国人観光客数の推移	15
口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	16

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成29年度
計画の実施・推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
計画推進体制として、都市整備課及び文化財課(事務局)と、既に設置されている審議組織を位置づける。計画実施体制として、各事業担当課と事務局が連携して実施する。なお、計画の実施、推進その他計画に関わる事項については、法定協議会である「高山市歴史的風致維持向上計画協議会」が総括する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市整備課と文化財課の連携の下、頻繁な打ち合わせにより計画の推進を図った。旧森邸等整備事業などの事業検討においては、都市整備課と文化財課に加え、商工観光部とも連携を図って調整を進めた。
計画の進行管理・評価においては、平成29年度進捗評価及び現行計画の最終評価を実施し、その評価結果について法定協議会である「高山市歴史的風致維持向上計画協議会」から意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現行計画の最終評価において明らかとなった課題の解消に向け、第二期計画を策定し継続的に歴史的風致の維持向上に取り組む。

状況を示す写真や資料等



平成29年12月20日に開催した
高山市歴史的風致維持向上計画協議会の様子

■法定協議会への協議状況

- 高山市歴史的風致維持向上計画協議会
- 開催日 平成29年12月20日
- 開催場所 高山市役所 202会議室
- (議題)
- ・平成29年度進行管理・評価について
- ・第一期計画の最終評価について
- ・第二期計画の策定について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
景観計画の活用(既存不適格物件の是正)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
城下町高山の大部分を「城下町景観重点区域」、「風致地区景観重点区域(城山、北山、東山)」及び「中心商業景観重点区域」に指定しており、建築物や工作物と併せて屋外広告物についても細かい規制を実施している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に景観計画における屋外広告物の掲出基準や建築物の色彩基準の見直しを行い、平成29年4月から新基準の運用を開始した。新たな基準に適合しなくなった物件については、撤去・改修に対する3年間の特例補助制度を設け、所有者に対する個別協議により是正の促進を図った。

- 平成29年度実績(重点区域における特例補助分)
 - ・屋外広告物の撤去及び改修:7件
 - ・建築物の外壁塗替え:2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存不適格の屋外広告物等について、平成31年度末までに是正が完了するよう、所有者に対する個別協議を進める。

状況を示す写真や資料等

屋上広告の撤去



撤去前



撤去後

建築物の外壁塗替え



塗替え前



塗替え後

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
市独自条例の取組(市街地景観保存条例による景観保存)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市街地景観保存条例の運用により、郷土の重要な歴史的、文化的資産としての市街地景観の保存に取り組み、今後はさらに普及啓発を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市街地景観保存区域における建築物の新築・改修等行為の届出に対し、景観の観点から必要な助言や指導を行った。また、市街地景観保存区域建造物修景事業(一定の基準を満たす建築物の修景等に対する補助制度)について、地域住民への周知により事業の活用が図られ、町並み景観の向上につながった。

- 平成29年度実績
 - ・建築行為の届出件数:12件
 - ・市街地景観保存区域建造物修景事業:4件(H28:10件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

市街地景観保存区域建造物修景事業により修景が行われた建造物



修景前



修景後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
旧森邸等整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 かつては豪商森家の邸宅があった地である旧図書館敷地において、不要な建造物の除去を行い、防災機能を有した避難場所を含む屋内外交流スペースとして整備するとともに、現存する旧森邸の土蔵を修復し連続した町並み景観の形成を図る。また、同じく旧森邸の敷地であった土地に建築され、現在は空家となっている民家及びその用地を取得し、伝統芸能の鑑賞、伝統行事や伝統工芸品の紹介、伝統文化の体験等を行う施設として改修する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本年度、整備工事を行い年度末に完了した。施設名を「飛騨高山まちの体験交流館」とすることに決定し、平成30年7月の開館予定としている。施設一階には、伝統文化や芸能の実演、工芸品の展示販売をするスペースを設け、二階では着物の着付け体験や踊りの稽古の実演などを行う。歴史的風致の新たな拠点施設として、近接する飛騨高山まちの博物館と一体的な活用を図っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民や観光客が自由に利用、交流できる施設とし、飛騨高山まちの博物館との一体的な活用や新たな歩行動線の創出により、まちなかにおける回遊性の向上を図る。
--	--

状況を示す写真や資料等



飛騨高山まちの体験交流館 外観



館内を通り抜ける新たな歩行動線

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
スポット整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	昭和55年～
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容	市民や観光客が散策する文化財周遊ルートにまちかどスポット等を整備し、ふれあいの場を提供する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

中心市街地において観光客等が散策する際の休憩スペースや地域コミュニティー形成の場であるスポットについて、既存施設の再整備によって休憩機能の充実や看板の設置等を行い、まちなかの回遊性の向上を図った。
平成29年度実績
 ・まちかどスポットの整備:6箇所(H28:2箇所)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

郷土館スポットの整備状況



整備前



整備後
(案内板と休憩施設を設置)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
町並み・景観保全事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和54年～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈都市再生整備計画事業〉		
計画に記載している内容	高山の景観にふさわしい看板や生垣の設置に協力していただける民間(個人)に補助をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高山の景観にふさわしい看板の設置やふさわしくない看板の撤去、生垣の設置に対し補助を行った。 平成28年度に景観計画における屋外広告物の掲出基準の見直しを行い、平成29年4月から新基準の運用を開始した。 新たな基準に適合しなくなった看板については、撤去・改修に対する3年間の特例補助制度を設け、所有者に対する個別協議により是正の促進を図った。 <input type="checkbox"/> 平成29年度実績 ・看板設置及び撤去補助:重点区域内9件 重点区域外12件(H28:計4件) ・生垣設置補助:重点区域外1件(H28:1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存不適格の屋外広告物等について、平成31年度末までに是正が完了するよう、所有者に対する個別協議を進める。		
状況を示す写真や資料等			

高山の景観にふさわしい看板補助金の活用により撤去された看板



撤去前



撤去後



撤去前



撤去後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物等修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金〈都市再生整備計画事業〉

計画に記載している内容 景観的に価値のある建造物や国の登録有形文化財を景観法における「景観重要建造物」に指定するとともに、その所有者に対し、建造物の外観を維持するために必要な修理や修景に要する経費の一部を助成する。市街地景観保存区域内において行われる、建築物の新築・増築・改築・修理等の行為が伝統的な意匠を基本とした一定の基準を満たす場合、その所有者に対し、当該行為に要する経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観重要建造物に指定された建造物の外観を維持するための修理や、市街地景観保存区域内の建造物における一定の基準を満たす建築行為に対して補助を行った。歴史ある建造物の維持保全にかかる所有者の経済的負担を軽減するとともに、建造物の形態や意匠等の無秩序な変更を防ぐことにより、周辺の景観と調和した趣のある町並みが保全された。

- 平成29年度実績
- ・景観重要建造物修景事業:1件(H28:1件)
- ・市街地景観保存区域建造物修景事業:4件(H28:10件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観重要建造物修景事業により修景が行われた建造物(土蔵)



修景前



修景後

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
屋台保存事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成2年～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高山祭の中心である屋台を保存する活動(屋台の管理、からくりの小修理・維持管理)を行う団体に対して補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高山祭の屋台を保存する活動を行う団体に対して補助を行ったことにより、屋台の保存や修理技術の継承に寄与した。 ・高山屋台保存会の理事である寺地亮平氏が、高山祭の保存や伝承に長年貢献したとして、文化庁長官表彰を受けた。 ・高山祭屋台の優れた修理技術者を認定する「高山市屋台修理技術者」として、18年ぶりに4人が認定された。木工2人、漆・箔1人、鍛冶1人で、4人は高山・祭屋台保存技術協同組合の後継者を育成する「てわざ会」に所属している。認定者は計20人となった。 <input type="checkbox"/> 平成29年度実績 ・高山祭屋台管理費補助金 1件 (高山屋台保存会) ・からくり屋台管理技術伝承保存補助金 1件 (高山屋台保存会) ・高山祭屋台保存技術伝承保存補助金 1件 (高山・祭屋台保存技術協同組合)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



「高山市屋台修理技術者」の認定書授与の様子



「高山市屋台修理技術者」の認定を受けた4名

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
伝承芸能保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成2年～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	地域の住民が伝統行事の中で行っている伝承芸能、祭礼活動に対して補助金を支出し、その活動を支援する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
地域の伝承芸能の保存団体に対して活動助成を行ったことにより、伝承芸能の継承に寄与した。 <input type="checkbox"/> 平成29年度実績 ・伝承芸能保存団体補助金:11件	



進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝承芸能保存団体
高山市子供伝承芸能連合保存会
岩滝民踊保存会
飛騨総社親子獅子舞保存会
高山民謡保存会
下切町金蔵獅子保存会
飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会
飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会
千島白山神社獅子舞保存会
錦山神社徳兵衛獅子保存会
新宮町伊勢神楽保存会
宗和流四常社



飛騨総社親子獅子舞保存会の親子獅子舞

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、防災に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	指定等文化財については、適切な保存が図られるよう計画的に修理を実施する。 文化財指定建造物のほとんどが木造であり、また重要伝統的建造物群保存地区も木造家屋が連たんする町並みであることから、自主防災組織の機能強化やグループモニター型自動火災警報装置の設置、防火帯としての土蔵の修理等に対し支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財や重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修復や修理を実施することにより、適切な保存を図ることができた。また、重要伝統的建造物群保存地区において防火帯としての役割を担っている土蔵の修理を実施することにより、防火対策の向上を図ることができた。			
□平成29年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ○指定文化財の保存修理事業 2件 (市指定:角正、宗猷寺本堂) ○高山祭屋台保存修理事業 4件 (屋台3台、屋台蔵1件) ○重要伝統的建造物群保存地区内の住宅修理に対する補助 8件 (修理7件、修景1件) ○重要伝統的建造物群保存地区防災対策事業 ・土蔵の修理に対する補助 5件 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
重要伝統的建造物群保存地区内の住宅修理に対する補助			
			
修理前		修理後	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 飛騨高山まちの博物館については、市の歴史民俗資料の保存活用の中心施設として、郷土教育や伝統文化の継承の場としても活用を図っていく。
 文化財に関する講座の開催や出前講座の開催等、文化財の保存及び活用に関する普及啓発を、様々な機会を使って実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

飛騨高山まちの博物館において、特別展を年5回開催し、趣向を凝らした展示により多くの来館者に高山の歴史や文化にふれていただく機会を提供した。また、外国人の来館者に対応するため、フランス語で展示物を紹介するガイドブックの作成を行い、外国人の受け入れ体制の強化を図った。

○飛騨高山まちの博物館利用者数 平成29年度 184,273人(平成28年度 182,316人)

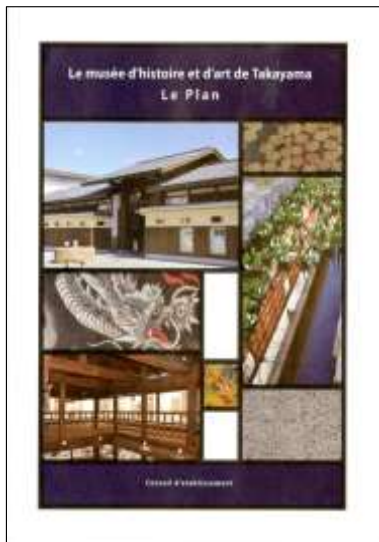
市史編集員等を講師とした「高山歴史講座」を年3回開催し、延べ150人の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



飛騨高山まちの博物館のフランス語版ガイドブック

平成29年度 飛騨高山まちの博物館特別展

- ・春季特別展「高山祭 一祭の華とひと」
- ・夏季特別展「岐阜県博物館移動展」
- ・秋季特別展「かなもりを知る」
- ・冬季特別展「新蔵資料展」



平成29年度 高山歴史講座

開催日	テーマ	参加人数
10月18日	「大坂夏の陣 秀頼方についた別家・金森氏」	40
11月19日	「金森氏が望んだ美濃・郡上の領地 宝暦騒動で改易」	40
1月23日	「金森頼峯の第六代家督相続お祝い屏風について」 「飛騨における年貢の納め方」	70

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
民間団体への助成・支援	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 町並み保存団体、屋台組をはじめとする文化財を保存・活用する各種団体については、活動への助成、情報提供、研修等を通じて組織の維持と活性化を支援していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観町並保存会や高山祭の屋台を保存する団体、地域の伝承芸能や文化財の保存団体に対して活動補助を行った。

- 平成29年度実績
 - ・景観町並保存会に対する補助金 21団体
 - ・高山祭の屋台保存に関する補助金 2団体
 - ・伝承芸能保存団体に対する補助金 11団体
 - ・指定文化財保存会に対する補助金 2団体
 - ・史跡保存会に対する補助金 12団体

地域の有形無形の伝統文化や文化財の保存活用、美しい景観の保全などを目的に、3年以上活動している団体や個人を市長が認証する「美しいふるさと認証制度」について、今年度7団体を認証し、これまでの認証団体が119団体となった。各団体の活動を公的に認めることにより励みとなるほか、市広報誌などでのPRにより、活動の活発化につながった。

- 平成29年度美しいふるさと認証者
 - ・民俗文化保存 6団体
 - ・景観保全 1団体

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

活動補助金交付団体一覧

景観町並保存会 東山景観保存会 神明町景観保存会 上二之町町並保存会 恵比須台組町並保存会 上三之町町並保存会 豊明台組町並保存会 上一之町上町並保存会 寺内景観保存会 上三之町中組景観保存会 片原町町並保存会 鳩峯車組町並保存会 神馬台組町並保存会 船鉾台組町並保存会 越中街道町並保存会 浦島台組町並保存会 大新町1丁目3班町並保存会 上三之町上組景観保存会 宝珠台組景観保存会 八幡町景観保存会 上一之町大町会景観保存会 下一之町景観保存会	高山祭屋台保存に関する団体 高山屋台保存会 高山・祭屋台保存技術協同組合	指定文化財保存会 車田保存会 江名子バンドリ保存会
	伝承芸能保存団体 高山市子供伝承芸能連合保存会 岩滝民踊保存会 飛騨総社親子獅子舞保存会 高山民謡保存会 下切町金蔵獅子保存会 飛騨東照宮おかめ獅子舞保存会 飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会 千島白山神社獅子舞保存会 錦山神社徳兵衛獅子保存会 新宮町伊勢神楽保存会 宗和流四常社	史跡保存会 赤保木史跡保存会 荏名古史跡保存会 鍋山城史跡保存会 上切町史跡保存会 三福寺文化遺産保存会 新宮史跡・文化財保存委員会 松之木町文化遺産保存委員会 山口史跡保存会 瀧覚坊史跡保存会 飯山寺保存会 上江名子史跡保存会 松本史跡保存会

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
民間団体と連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 町並み保存団体、屋台組をはじめとする文化財を保存・活用する各種団体については、活動への助成、情報提供、研修等を通じて組織の維持と活性化を支援していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高山市景観町並保存連合会の3つの専門部会において、市との連携によりそれぞれの取組が行われた。
【高山市景観町並保存連合会の各専門部会の役割と活動実績】
 ○「町並み保存部会」: 町並み保存のルール作りや市に対する要望を行う
 ・町並み保存のルール作りを検討し、屋外広告正指導・啓発活動に参加した
 ○「広報部会」: 各保存会の取組、高山の町並みの素晴らしさを、市内外に広く発信する
 ・広報誌「町なみ飛騨高山」を制作し、各保存会や関連施設等に配付したほか、市ホームページに掲載した
 ○「子ども伝承部会」: 次世代に町並み保存に関心を持ってもらえるような事業を進める
 ・町並み保存の大切さを知ってもらうため、地域の小学生を対象に、上町といわれる地域をご朱印帳にスタンプを押してもらいながら巡る催しである「上町発見! ご朱印めぐり」を行った。7月22日(土)開催 参加者: 24人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「町並み保存部会」の屋外広告正指導・啓発活動の様子



「子ども伝承部会」が実施したご朱印めぐりの様子



「広報部会」が制作した広報誌(12号)
 (今年度は12号~13号を発刊)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		平成29年度
高山祭 20年ぶり生演奏の琴高台	平成29年4月7日	中日新聞
街は祝賀ムード 屋台総曳き揃え にぎやか	平成29年5月2日	中日新聞
高山の獅子 大阪で舞う	平成29年11月10日	中日新聞
市が「総務大臣表彰」受ける 伝統保護と海外誘客が評価	平成29年11月17日	高山市民時報
高山屋台保存会 寺地さん文化庁長官表彰	平成29年12月22日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年12月に「高山祭の屋台行事」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを記念して、平成29年4月29日、30日の両日に、春と秋の祭り屋台が集合する「高山祭屋台の総曳き揃え」が行われた。23台の全屋台が集まるのは55年ぶりで、春と秋の高山祭は互いに張り合ってきた歴史がある中、各屋台組の思いが一つとなって実現した。総曳き揃えでは、獅子舞や鬮鶏楽、からくり奉納も春と秋が共演し祝賀ムードに花を添え、多くの観光客で賑わった。

秋の高山祭の祭礼元である櫻山八幡宮の獅子舞が、平成29年11月12日に大阪府貝塚市で開かれた「近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会」に初出演した。高山祭や櫻山八幡宮の紹介も行い、高山祭の伝統芸能を広く知ってもらう機会となった。

平成29年11月20日に東京で開かれた「地方自治法施行七十周年記念式典」で、高山市が総務大臣表彰を受けた。高山市は、官民一体となって伝統的な文化や町並みを守るとともに、海外からの誘客に取り組んで大きな成果を挙げていることなどが評価された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



高山祭屋台の総曳き揃えにおけるからくり奉納(平成29年4月29日、30日)

項目

外国人観光客数の推移

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

海外での積極的なトップセールスの展開をはじめとして、多言語化したホームページや観光パンフレット等による地域固有の歴史文化の情報発信、案内看板等の多言語化や中心市街地における無料Wi-Fi環境の整備等による受入体制の充実などにより、外国人観光客が年々増加しており、平成29年には過去最高の約51万人(宿泊者ベース)となった。今年度は、ドイツ語版とイタリア語版の観光パンフレットの新規作成、多言語による歴史遺産説明看板や観光案内看板の設置などを実施し、外国人観光客の利便性の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

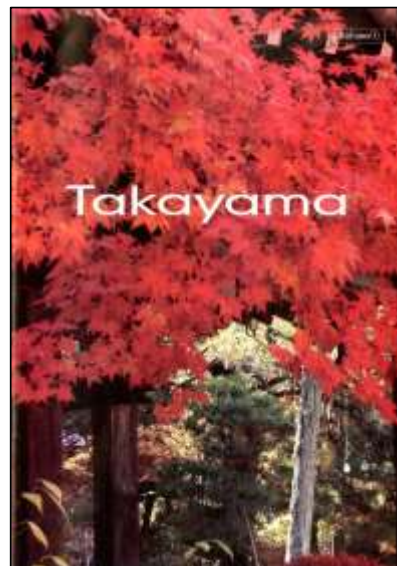
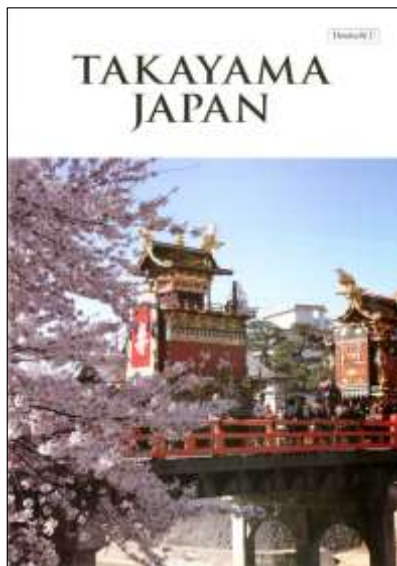
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

外国人観光客が多く立ち寄る飛騨高山まちの博物館において、展示物の説明表示を多言語化するとともに、外国語で展示内容や高山の歴史文化を説明できるガイドを養成する。

状況を示す写真や資料等



外国人観光客数の推移



新しく作成したドイツ語とイタリア語による観光パンフレット

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 高山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成29年12月20日	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存不適格看板の是正については、今後も町並保存会と行政とが連携をしながら、積極的な取り組みが必要である ・伝統文化等の担い手支援については、早急に具体的な施策を構築する必要がある ・増加する外国人旅行者に対して、地域の歴史文化をいかに伝えるか、また、文化の違いによるマナーの啓発が課題である 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存不適格看板の是正については、町並保存会等との連携を図るとともに、撤去・改修に係る3年間の特例補助制度を活用し、所有者との個別協議を進め、早期の是正を促進する ・祭礼行事や伝統文化、伝統技術の継承を図るため、後継者育成に対する支援や郷土の歴史文化の語り部の育成を行うとともに、祭礼行事や伝統行事の担い手を確保するための新たな仕組みを構築する ・外国人旅行者に対し、地域の歴史文化の成り立ちや魅力を伝えることができる通訳ガイドの育成確保等を図る 	